

# しゃきょう 社協ってなあに？

※社協＝社会福祉協議会の略。

毎年、社協会員の会費納入が町会・自治会を通じて依頼されています。高齢者のバスツアーや食事会は知ってるけれど…。さて、社協ってどんな活動？会費はどんなことに使われているの？調べてみると、わが地区の社協では高齢者懇親会だけでなく、サロンやミニデイ、子育て支援や子ども食堂、お買い物ツアーや魚の移動販売会など、さまざまな事業をしているんですね。今回は、私たちの身近な地区社協について、ふれることにしました。

## 「地区社会福祉協議会(地区社協)」とは

少子高齢化の傾向が一層顕著となり、独居高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化など、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。一方で、家事介護や子育て支援、安否確認、見守りなど福祉に対する要望は複雑・多様化し、行政による公的サービスだけでは課題解決が難しくなっています。(中略) こうした暮らしの中にある福祉課題に対して、そこで暮らす方々の「つながり」を活かしながら活動を展開する住民主体の組織です。概ねまちづくりセンターの管轄地域ごとに区内では29の地区社協が活動しています。

(世田谷区社会福祉協議会 HP より抜粋)



## 喜多見地区社協の 中心的な事業 (サポート・補助を含む)

高齢者懇親会 (高齢者 昼食会・お楽しみ会)



高齢者交流会 (バスツアー)



敬老のお祝い助成他 (70歳または75歳以上の方に町会・自治会でお祝い配布)



ふれあい交流会 (映画上映・茶話会)



その他 区民まつり参加 区内福祉施設交流等 (昨年コロナで中止)

見守り講座



## その他の社協事業としてこんなことも…

\*開設や運営をお手伝い サロン・ミニデイ、高齢者 クラブ交流、子ども食堂など

\*ファミリー・サポート・センター事業



「社協」って一言でいえば、人と人を「つなぐ」活動なんです！ 次のページでは、二つの活動を紹介します！



# のがわ

第104号  
2023年7月発行  
発行者 編集委員会  
事務局 喜多見  
まちづくりセンター  
03-3417-3401  
＜管内データ＞  
2023年6月1日現在  
人口 33,247人  
(前号比 94人増)  
男:16,413人  
女:16,834人  
世帯数:16,015世帯  
(前号比 139世帯増)

「協力ありがとうございました。」  
☆古着・古布リサイクル回収量  
5月21日実施 13,290kg  
今回は11月19日(日)の予定です。

「ミニコミ紙のがわ」は、こちらからもご覧いただけます。



## 人事異動



町会・自治会  
法人格 鎌田南睦会会長  
(旧) 脇 克仁  
(新) 佐々木 研一

まちづくりセンター職員  
(転出) 野仲 すみれ  
高齢福祉部 高齢福祉課へ  
(転入) 柿本 勇成  
(前) 教育総務部 学務課  
(敬称略)



写真提供: 喜多見わんわんパトロール隊



実際の避難所には、犬や猫以外のペットを連れて同行者や、鳴き声の問題、中には動物アレルギーの方もいます。自身のことだけではなく、人と動物が共生する社会の中で、避難の在り方も考えさせられるセミナーでした。

3月5日(日)、宇奈根地区会館にて、ペット同行避難の第一人者で、各メディアでも活躍のNPO法人アナイの平井潤子氏を講師に開催されました。  
災害時は、人が生きていくだけで大変な状況です。ペットも人と同様、フードやゲージなど事前の備えが重要。また、ペットの名前・写真・薬などの情報をスマートフォンに入れておくといざという時に役立つこと、風水害が想定される場合には、事前に友人や親戚などに預けることも一つの方法だということ学びました。  
講義の後、グループに分かれて「避難所運営ゲーム(HUG)」のペット同行避難版を行い、避難所運営でどのようなことが想定されるか想像しながら、アイデアを出し合いました。

## ペットの同行避難対策セミナー

喜多見わんわんパトロール隊主催

夏の主な行事		お問い合わせ先 喜多見まちづくりセンター ☎ 03-3417-3401	
主催	行事	日時	場所等
喜多見北部町会	夏休みラジオ体操	8月28日(月)~8月31日(木)	喜多見駅南口広場
	災害時「共助」の防災訓練	9月30日(土)	町会内全域
喜多見西部町会	夏まつり	8月26日(土) 15時~18時	滝下橋緑道中央広場
喜多見中部町会	夏休み子どもまつり	7月29日(土) 15時~	喜多見中学校中庭付近
喜多見東部町会	夏休み子ども大会	7月22日(土)	須賀神社境内
喜多見上部自治会	砧っ子夏祭り(実行委員会と共催)	7月22日(土) 15時30分~	砧小学校
	夏休み締めくくり子ども会	8月27日(日) 16時~	砧小学校校庭(雨天の場合→体育館)
	防災訓練	9月9日(土) 雨天→10日(日)	次大夫堀公園えのき広場
喜多見2丁目団地自治会	団地まつり	9月16日(土)、17日(日) 15時~	団地ローラー公園
宇奈根町会	盆踊り大会	7月22日(土)、23日(日)	宇奈根氷川神社境内
鎌田協和会	防災訓練	9月3日(日)	〃
	鎌田納涼盆踊り大会	7月29日(土) 19時~	鎌田天神社境内
鎌田南睦会	自転車乗り方教室		
	すいか割り大会 (砧南小PTA 校外委員共催)	7月9日(日) 9時~12時	鎌田区民集会所
	納涼盆踊り	7月28日(金)19時~	ゆうぼうとレクセンター駐車場
お祭り	夜間パトロール	8月5日(土)、23日(水)	鎌田2丁目公園集合
	須賀神社祭礼	8月1日(火)、2日(水)	湯花神事
	鎌田天神社祭礼	10月8日(日)	
喜多見商店街振興組合	喜多見氷川神社祭礼	10月15日(日) (予定)	
世田谷区 区民まつり実行委員会	喜多見商店街盆踊り	7月29日(土)、30日(日)	喜多見駅前広場
青少年喜多見地区委員会	世田谷ふるさと区民まつり	8月5日(土)、6日(日)	若林公園、松陰神社、国士館 大学世田谷キャンパスの一部
世田谷区 たまがわ花火大会実行委員会	多摩川であそぼう	9月30日(土) (雨天中止)	二子玉川緑地ピクニック広場公園
喜多見地区 区民まつり実行委員会	世田谷区たまがわ花火大会	10月21日(土) (荒天中止)	二子玉川緑地運動場
	喜多見地区区民まつり	11月3日(祝・金)	喜多見小学校

## 編集後記

世田谷に28年、うち喜多見で15年。この景色になれた今では、野川は当地の看板だと思える。いつも鳥を遊ばせていて親しみがある。古いものや歴史にはこと欠かない。つい先年も外環道工事で17基もの横穴墓古墳が出土した。7世紀(タイムスリップ。一日だけの見学会に大勢参加した。測量しただけで壊してしまうなんて。もって古い稲荷塚古墳緑地では、緑化推進部会で半年に一度花壇の花の植え替え、草取りも行っているが草の成長には到底追いつかない。  
草取りの際は遠慮なくムシるが、雑草も名前を覚えると愛着がわく。桃色の金平糖のような花が可愛いマコソリヌグイ。茎、葉とも刺だらけ。葉っぱの形が菱形を繋げたようなワルナスビは茎に縫い針のような長い刺があつて恐ろしい。  
氷川神社と慶元寺の間の道は、夏の蝉時雨の後、樹上から鳥のキッキキキキキと涼しそうに鳴き声が聞こえてくる(名前は知らない)。ここは、いつもいい風が吹いていてミニ等々力渓谷に思える。  
冬の夜明けは、どこで見ても美しい。当地では喜多見公園の冬木立の幹の根元から梢の方へ陽が上る。濃紺の空へバラ色が広がる様子は、冬の朝一番の楽しみです。  
佐藤 壽夫



# 宇奈根の渡し 10周年

喜多見児童館の「世田谷区子ども夢プロジェクト」から始まった「宇奈根の渡し」が今年で10年目となりました。残念ながら前日の雨で「渡し」は中止となってしまいましたが、世田谷区長、川崎市長のご臨席のもと、舟の製作からプロジェクトにご協力いただいた地域の方に、子ども実行委員から感謝状や花束が贈られました。午後は川崎と世田谷の子どもたちが手作りのゲームや紙芝居、地面に置かれた舟での模擬さおさしなどで遊びながらの交流。また一つ、歴史が重なりました。



交流会の様子

## 10周年記念セレモニーに参加して 編集委員 佐藤

5月14日、喜多見児童館で「宇奈根の渡し」10周年記念セレモニーが行われました。

「宇奈根の渡し」復活(一日だけの)10年を振り返る動画も上映され、初めてそうなんだと実感しました。前館長のスピーチで子どもたちの夢を叶えたいと、手探りで役所や関係部署を訪ねても「安全面は？」と言われ続けて…と一瞬絶句された事に産みの苦しみがうかがわれました。



子ども実行委員から感謝状が贈られた小泉政礼さん(左)と鈴木光吉さん(中央)

感謝状贈呈式の後、突然ひとことを、のマイクを向けられた鈴木光吉さん(舟の製作、掉さし指導をされた方です)が、「水の流れるは浅い所が速い。舟の縁とコンクリートの間に挟まれて指をとばしたり、事故があったりしなくて本当によかった。水の流れるは緩そうに見えても、人の力では止められない。ここにいる皆の力でも無理」という話が印象に残りました。(19号台風も記憶に新しい。)地域のお宝のような話を、児童館の隣に住んでいて知らなかった！ご協力された皆様の助力の賜物です。

「このような状況なので家に閉じこもり気味になり、足腰の衰えが目に見えて顕著になってきました。団地に住んでいる方々が、楽しいひと時を過ごせて、話だけでも気軽に参加できる場をと考え、喜多見あんにんすこやかセンターに相談し、月1回いろいろなことを幅広く、浅くと決め、地域包括ケア喜多見地区事務局のバックアップのもと、今年1月から、その集まりを始めた。1月は「懐かしい正月遊びをしよう」と題し、ベーマヤけん玉遊びをして子供の頃にかえりました。また、2月は「歩き方改善」と題し、歩行をスマホで撮影し、Aアプリで解析し、その人にとつての必要な運動を紹介してもらいました。会の名前も皆さんで意見を出し合い、団地のだん、団樂のだん、だんだん良くなるのだんで「だんだんの会」と全員一致で決めました。3月はパラリンピックで有名になった「ポッチャ」を「楽しもう」でした。見ていると簡単そうですが、実際ボールを投げていると想像したようにならず大変難しかったです。これからも、皆さんでワイワイ言いながら「だんだんの会」を楽しく進めていきたいと思えます。



### 「だんだんの会」の意義

喜多見2丁目団地は高齢化が進み、また単独世帯が増えました。コロナウイルスもある程度収まりましたが、高齢者にとってはまだまだ不安が残る今日この頃です。

町会・自治会  
リレートーク  
喜多見2丁目団地自治会  
古結 信良 会長

## 活動その1. 喜多見地区 「体操野郎会」

たいそうやろうかい



さまざまな活動をしているサロンの中から、男性だけで活動している健康体操に編集委員が参加してきました。



現在11名の会員で、月2回開催しています。70~80代が中心？

女性が多い体操クラブはおしゃべりも楽しみのうち、という感じですが、男性だけのこの会は、自分の身体と向き合って、今日の体調に合わせて自分なりに動かせばいいので、女性軍団に気後れしてしまうお父さん世代には、もってこいの団体だと思います。



参加するにあたって、私なりに「野郎会」というから恐らくマッチョな男性の集まりだろうかと勝手に想像しつつ会場を覗くと、中央には指導役の女性の先生が、ニコニコしながら会員を迎えられていた。これなら今年米寿を迎える私でも大丈夫かなと少し安堵した。

1時間半の行程で内容は所謂「筋トレ」中心で、頭の天辺から足のつま先迄の無数の筋肉を鍛える伸縮運動。きつく、少々辛い面もあったが、何か筋肉に良い褒美を与えているんだという実感を伴うものだった。杉山代表は「この体操は医学の根拠に基づくもので、色々な先生にお願いしている」とのことだった。

私は人生の最終章に入り、このまま老いを守りに生きるより、むしろ老いと対峙の姿勢で、生きる以上見ている」とのことだった。

苦しくない程度に自分を整えておくのに相応しい会だと認識を新たに、早速入会の手続きをして、何か晴れやかな気分が会場を後にした。私の晴れやかな気分とは、この会を通じて、会員の皆さんとの新たな出会いが生まれる。人との出会いは楽しいもので、これも又私のつたない人生を彩ってくれる。次回が楽しみだ。

そして地元の皆さんも参加されることを心よりお勧めしたい。杉山代表も「もっと会員を増やしたい」と素敵な笑顔でおっしゃっていた。(靖)

## 活動その2. 世田谷区社協 「ファミリー・サポート・センター事業」



昔は「向こう三軒両隣り」が、子育てから物の貸し借りなど助け合いながら生活していました。この事業は、核家族化が進み、ますます子育て負担が増す中で、子育てを支援してほしい方(利用会員)と、手助けのできる方(援助会員)の橋渡しを行い、身近な地域で子育ての相互援助を行う会員制のしくみです。

### 利用会員になるには？

まずは事前登録が必要です！

区内在住で生後43日から小学校6年生までの子どもの保護者が対象。

#### ● 依頼できる内容

- \* 子どもの短時間の預かり  
仕事・出産・保護者のケガや病気など。ちょっと疲れてリフレッシュしたい、美容院へ行きたい、そんなときもOK！
- \* 保育園・幼稚園・小学校・習い事の送迎  
その前後の預かりも可能です。

#### ● 預かり場所

会員と面談の上決める。  
(自宅、児童館、おでかけひろばなど)

#### ● 活動謝礼金など

1時間800円、ほか活動中に生じた費用。謝礼金は、会員から直接受け渡します。

困ったときは  
お互いさま！



利用会員さんと  
援助会員さんを  
マッチング！  
面談して打合せ



### 援助会員になるには？

子どもが好きで、責任を持って子どもの預かりや送迎ができる18歳以上の方(高校生不可)。

「子育て支援者養成研修」(6日間計25時間)の受講が必要です！

受講終了後、援助会員として登録します。

※研修の時期など詳細は、「世田谷区社会福祉協議会」のホームページをご覧ください。

写真は、明るく元気な援助会員の東内さん(写真左)と奥田さん(右)、ファミリーサポートきめたアドバイザー室井さん(中央)です。「こういう活動があること、子育て中で困っている方、ちょっと息抜きがしたい方にぜひ知ってほしい」。「援助会員はまだまだ少ない。1日1時間でもいいので無理をせず自分のできる範囲で、多くの方に援助会員になっていただきたい」。何より「子どもたちが可愛くて可愛くて…」と、目を細めながら活動の様子をお話くださった援助会員さん。取材を終えて、子どもたちを地域の繋がりの中で見守り、共に育てていくことが大事と感じました。

※わがまちの住民主体で構成されている「喜多見地区社協」に対し、「世田谷区社協」は法人組織。互いに連携・協働しながら、それぞれの立場で世田谷の地域福祉の推進に取り組んでいます。